

平成26年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

大阪市立今津中学校

生徒数

227

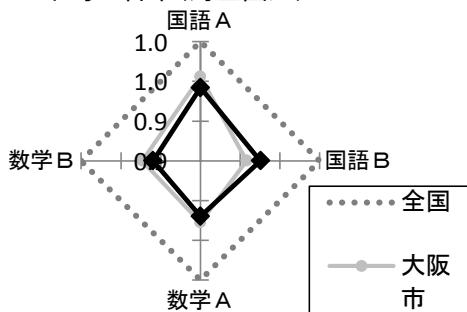
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	74.8	47.2	62.0	54.4
大阪市	75.9	46.3	62.5	55.2
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

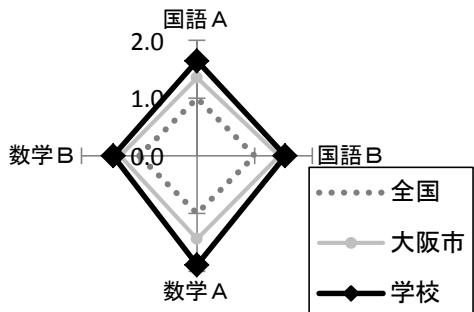
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	5.1	5.4	8.1	15.8
大阪市	4.2	5.0	6.2	14.5
全国	3.1	3.5	4.3	10.9

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



結果の概要

- 平均正答率は、本校は昨年度と同様に、国語A・B、数学A・Bが全国平均を約5ポイント下回っている。大阪市平均と比較しても、国語A、数学Bは約1ポイント下回っているが、国語Bにおいては1ポイント上回っている結果がでた。全国平均との差が、国語Bでは改善されてきている。
- 平均無回答率も、すべてにおいて全国平均より悪い結果がでている。特に数学Bにおいては、全国と4.9ポイント開いている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- これまでの取り組みの成果は、まだ十分にでていない。特に、無回答率の高さが、この学年の状況をよく表していると思われる。調査に臨む姿勢、調査結果に対する関心の低さが結果に表れている。
- 学校としての学力向上に向けた取り組みや、指導方法の改善に向けた取り組みは、継続して行われているが、校内研究授業における研究協議の成果がまだ授業改善にはつながっていない。
- 生徒質問紙に表れている規範意識の低さが、すべての教育活動の妨げになってしまっていると思われるところから、昨年度からの課題である授業規律の徹底をさらに進めていくことが急務である。
- 習熟度別授業のさらなる充実、言語活動の充実をはかるための取組みを今後も継続してしていく。

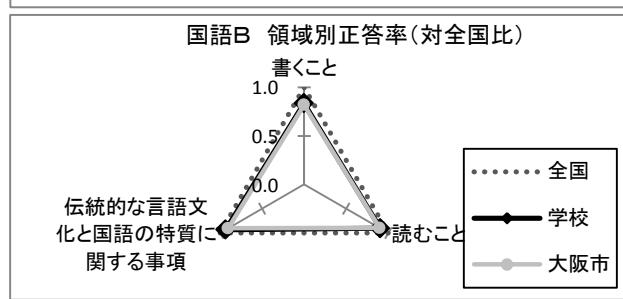
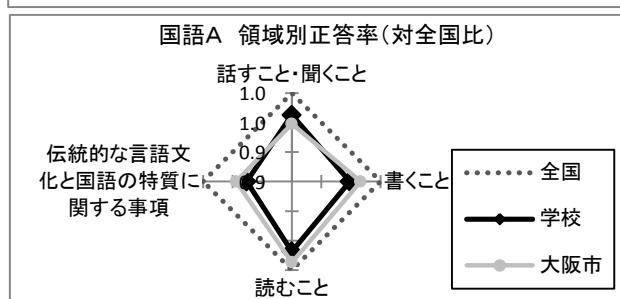
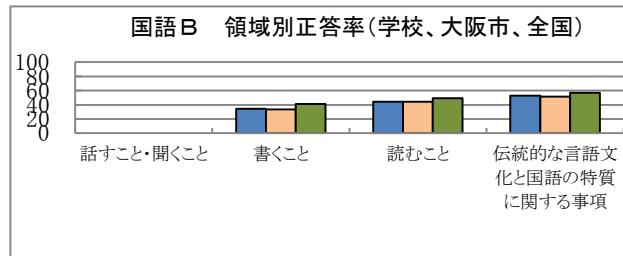
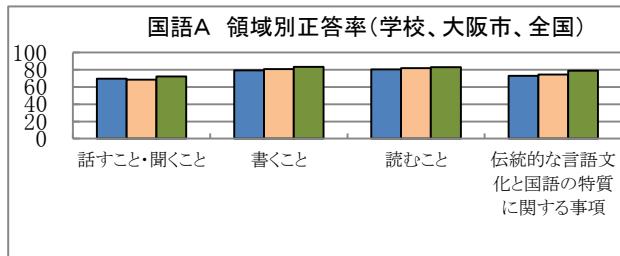
【国語】

結果の概要

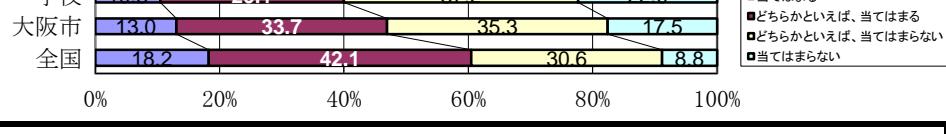
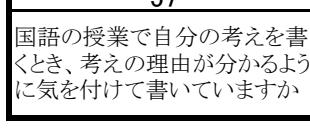
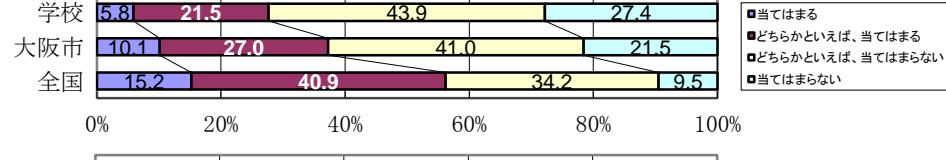
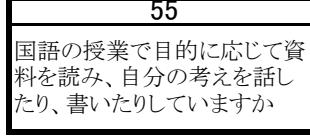
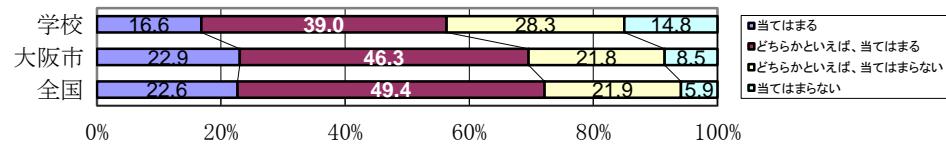
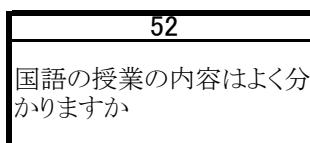
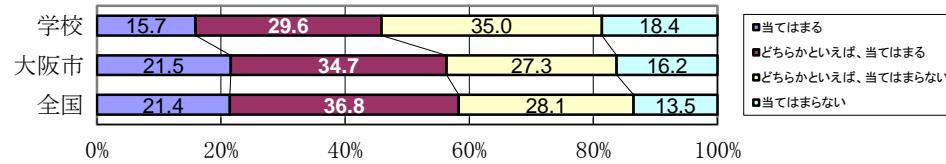
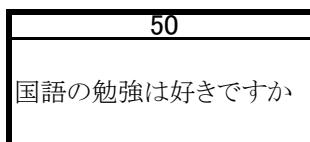
本校のA問題の平均正答率は74.8%、B問題の平均正答率は47.2%である。すべての領域において、全国平均を下回っているが、国語Aにおいては、話すこと・聞くこと・書くこと、国語Bにおいては全領域で、大阪市平均を上回っている。少しづつではあるが、知識・技能の低さが改善されつつあると思われる。ただ、無回答率は大阪市平均も上回り、悪い結果がでている。

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	69.6	68.5
	書くこと	6	79.1	80.6
	読むこと	5	80.3	81.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	72.9	74.3
		78.7		

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0	—	—
	書くこと	3	34.2	33.6
	読むこと	8	44.5	44.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	53.0	51.3
		56.8		



国語に関する「生徒質問紙」



成果と課題

- ・自分から進んで読書や作文等の言語活動を行うには到っていない。授業においては概ね理解し、着実に取り組んでいる。授業において、生徒の関心・意欲を引き出せるような取り組みを、さらに増やしていくなければならない。

今後の取組

- ・読書活動の推進のため、現在行っている取り組み(朝読書、毎日の図書室開館)を、さらに継続して行う。
- ・漢字検定への取組み(中学校全体・校区小学生の受検)、読み語り活動を継続する。
- ・習熟度別授業の充実と、言語能力育成のための授業改善を進める。

【数学】

結果の概要

本校のA問題の平均正答率は62%、B問題の平均正答率は54.4%である。昨年に続き、全ての領域において全国平均を下回っている。大阪市平均と比べると、領域においては数と式・関数において下回っている。基本的な数式・関数の知識・理解が不十分であり、それが、全体の正答率の低さにつながっていると思われる。

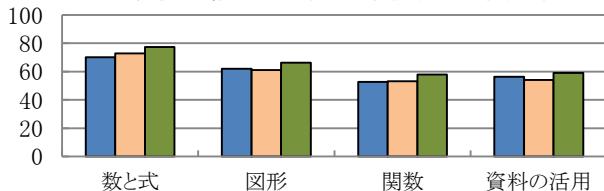
A問題

平均正答率(%)

学校 大阪市 全国

学習指導要領の領域等	数と式	12	70.1	72.8	77.4
		図形	12	62.0	61.2
関数	8	52.7	53.2	58.0	
	資料の活用	4	56.3	54.0	59.1

数学A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



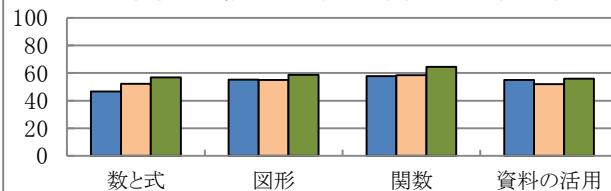
B問題

平均正答率(%)

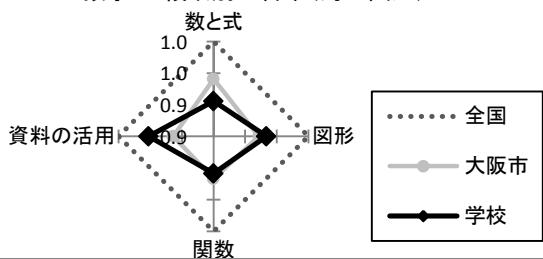
学校 大阪市 全国

学習指導要領の領域等	数と式	3	46.6	52.1	56.9
		図形	5	55.3	55.0
関数	5	57.8	58.5	64.4	
	資料の活用	2	55.0	51.9	55.9

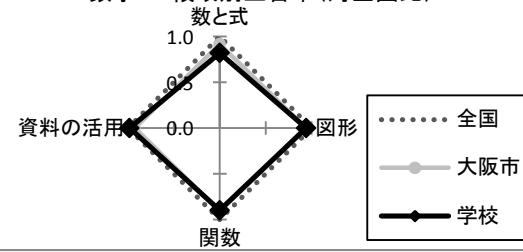
数学B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



数学A 領域別正答率(対全国比)



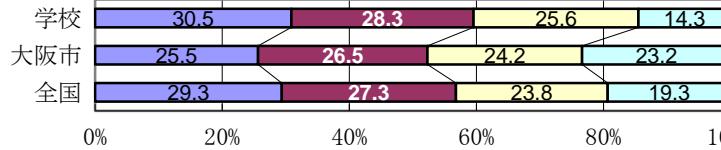
数学B 領域別正答率(対全国比)



数学に関する「生徒質問紙」

62

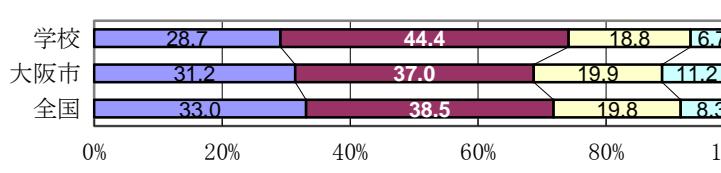
数学の勉強は好きですか



□当てはまる
■どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない
□当てはまらない

64

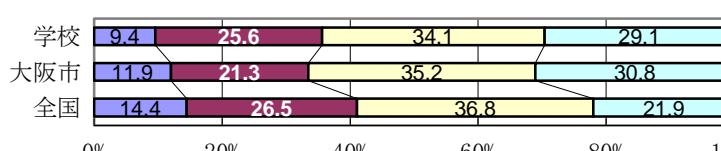
数学の授業の内容はよく分かりますか



□当てはまる
■どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない
□当てはまらない

67

数学の授業で学習したこと、普段の生活の中で活用できないかを考えますか



□当てはまる
■どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない
□当てはまらない

70

数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか



□当てはまる
■どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない
□当てはまらない

成果と課題

・生徒質問紙の結果を見る限り、生徒の数学に対する興味・関心は低くないと思われる。授業内容の理解に関しては、習熟度別授業の取り組みの成果が表れている。数式に関する基本問題の反復練習等が不足(家庭学習の不足)していることが、正答率の悪さにつながっている。また数学的な表現や、根拠の理解が不足している。

今後の取組

・授業において、基礎学力の充実をはかるための取組み、また数学的な考え方を言語的に表現するための活動を取り入れ、言語能力の充実をはかる。そのための授業改善が必要である。
・習熟度別授業のさらなる充実をはかり、個に応じた指導形態を工夫する。

学びの充実に向けて(1)

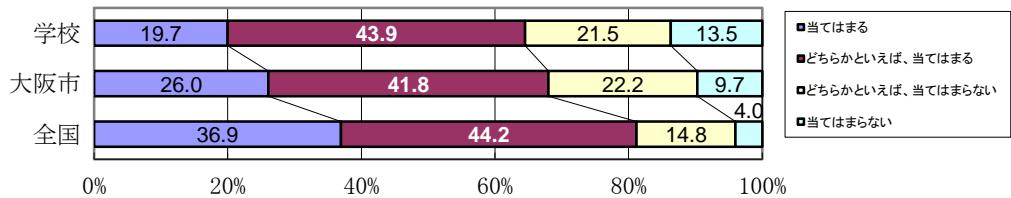
結果の概要

- ・質問42で、全国平均を大きく下回っている。大阪市平均も下回っていることから、教科によっては授業形態の改善が十分進んでいないことがうかがえる。
- ・読書に関しては、ほぼ大阪市平均と同じであり、昨年度からの課題である。
- ・質問48では、全国平均は下回っているが、昨年度比では数値は大きく向上している。

質問番号	質問事項
------	------

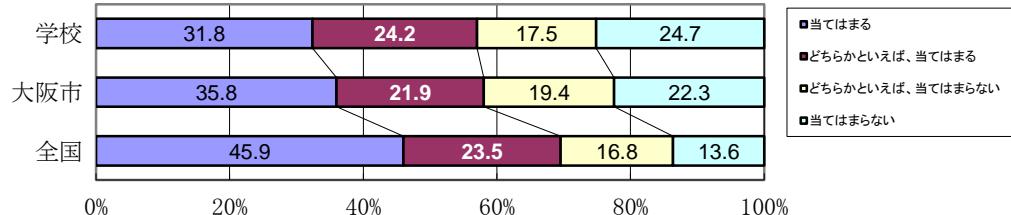
42

1・2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



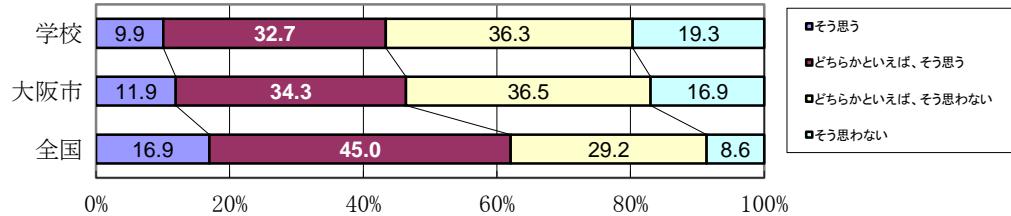
53

読書は好きですか



48

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



成果と課題

- ・昨年度から継続している読書活動などの取組みが、まだ生徒の興味・関心を引き起こすまでには至っていない。
- ・授業改善の面を考えると、授業規律の遵守との関連もあり、十分踏み切れていないところがある。
- ・教科によっては、授業に話し合う活動を多く取り入れて、成果をあげていると思われる。

今後の取組

- ・読書活動に継続して取り組んでいく。
- ・校内研究授業や、相互参観授業を増やし、研究協議を通して授業改革に取り組んでいく。
- ・生徒の主体的活動を授業に取り入れていく工夫を学校全体で試みていく。

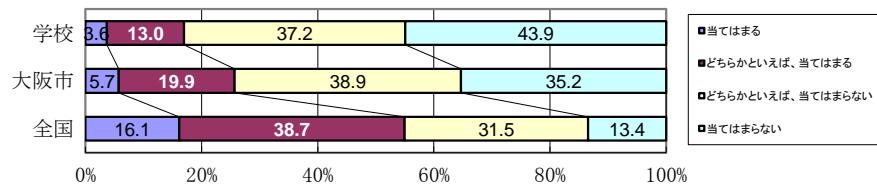
学びの充実に向けて(2)

結果の概要

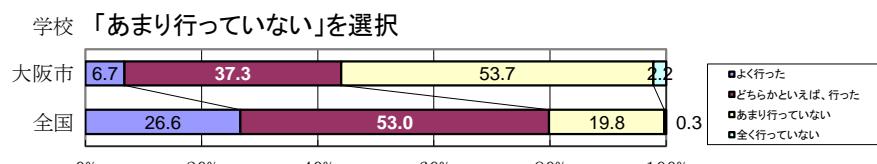
- ・生徒質問紙40、43のいずれも、全国、大阪市平均を下回っている。
- ・学校質問紙においても、全国平均と比べ遅れていることがうかがえる。
- ・学校質問紙41で表れているように、徐々にではあるが調べ学習を積極的に取り入れ、言語活動の充実をはかる授業に取り組み始めている。

質問番号	質問事項
------	------

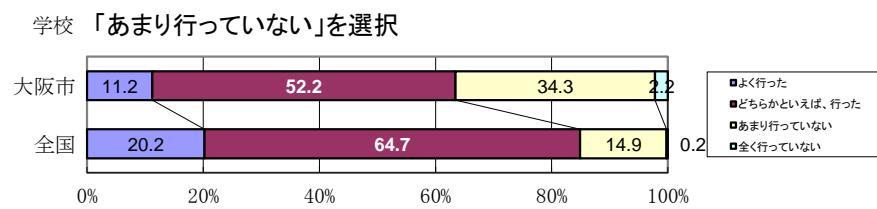
40
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



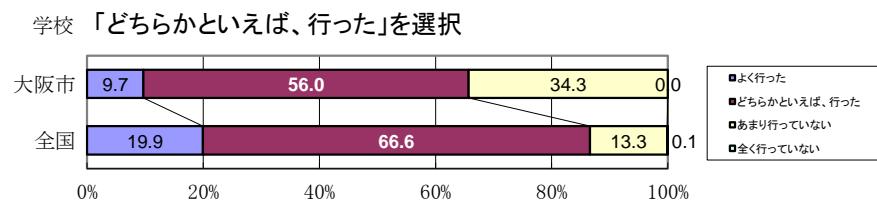
42【学校質問紙】
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか



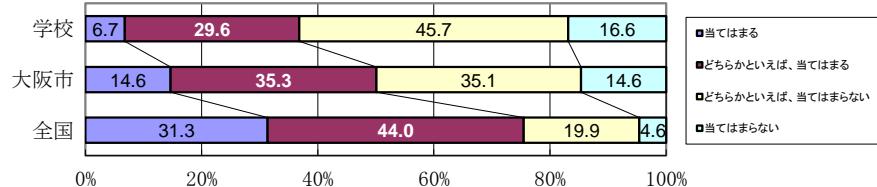
30【学校質問紙】
各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか



41【学校質問紙】
自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



43
1・2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



成果と課題

- ・行事や授業補填に対応しながらの「総合的な学習の時間」のカリキュラムの構成が不十分であり、課題設定等の授業構成が進んでいない。
- ・校内研究授業では、指導のねらいを明確にした授業を、各授業者が行った。

今後の取組

- ・校内研修はもとより、校外での研究授業に積極的に参加し、課題設定と探究の過程を意識した授業研究に取り組む。

基本的生活習慣

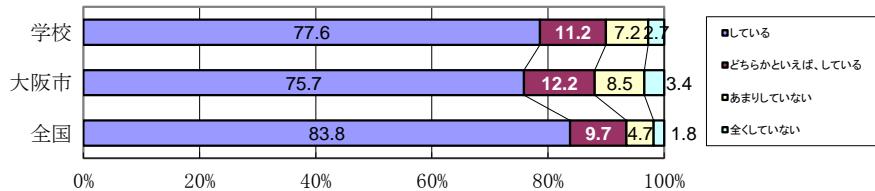
結果の概要

- ・質問1・質問3とも、昨年のポイントを大きく上回り、全国平均並みになっている。生徒・保護者への働きかけが成果をあげていると思われる。
- ・質問12、質問13はいずれも全国平均・大阪市平均を上回り、本校の生徒は、携帯、スマートフォン、テレビゲーム等を使用している時間が総じて長いことがうかがえる。

質問番号	質問事項
------	------

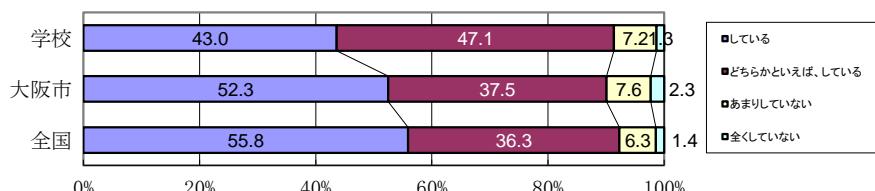
1

朝食を毎日食べていますか



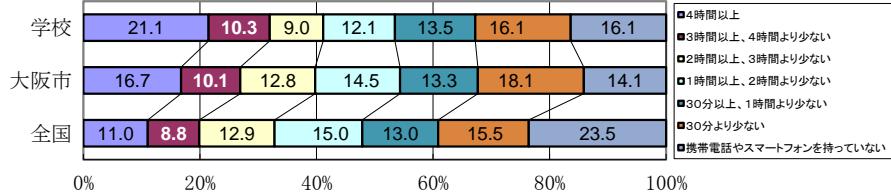
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



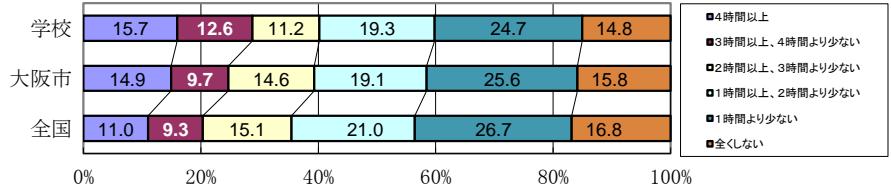
13

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームは除く)



12

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム等含む)をしますか



成果と課題

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に保健便りや学級通信で継続的に呼びかけることで、成果をあげている。
- ・普段の携帯電話やスマートフォンでのメールをする時間の長さは、大きな課題である。それが、家庭学習の時間の少なさにも表れている。

今後の取組

- ・食育指導も意識しながら、継続して朝食摂取の働きかけは続けていく。
- ・家庭・保護者との連携を深め、家庭学習の時間の確保の観点からも、携帯、スマートフォンの使用時間の長さを是正していく。

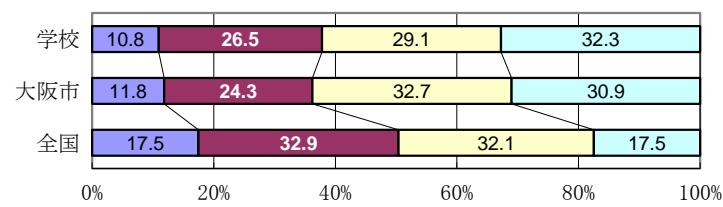
家庭学習

結果の概要

- ・質問21、質問24いずれも、「している」・「どちらかといえばしている」の合計は全国平均を下回っているが、大阪市平均は上回っている。また、計画だてて家庭学習ができると答えた生徒は、大阪市平均を上回っている。
- ・普段(月～金)の家庭学習の時間は3時間以上と答えた生徒は、全国平均を上回っているが、全くしないと答えた生徒も全国平均を上回っている。

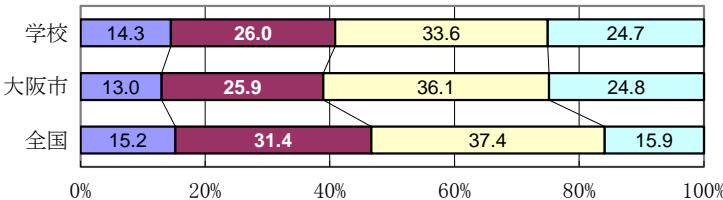
質問番号	質問事項
------	------

24
家で、学校の授業の復習をしていますか



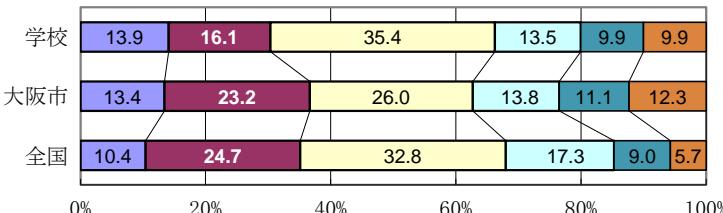
- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

21
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

14
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



- 3時間以上
- 2時間以上、3時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 30分より少ない
- 全くしない

成果と課題

- ・家庭学習の時間の確保は、昨年からの課題であったが改善されつつある。各教科での宿題の設定が成果をあげていると思われる。
- ・学習時間の長さは、多分に塾や家庭教師等の学習に負うところが大きいと思われる。また授業の復習を全くしていない生徒の割合の高さも課題である。

今後の取組

- ・家庭での授業の復習を生徒に定着させるために、また生徒が計画的に家庭学習できるように授業の中で取り組んでいく。特に家庭学習が0時間にならないように、宿題を工夫し、クラス担任との連携のもと指導を続けていくことが必要である。教員が毎日適当な量の宿題を出すことにより、家庭学習の習慣を定着させる、そのための教員の意識改革が必要である。

自尊感情・規範意識

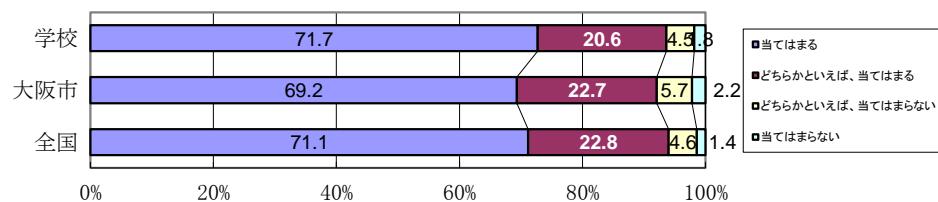
結果の概要

- ・質問4、質問6で大阪市平均を上回り、質問4では全国平均も上回っている。質問6の「自分にはよいところがある」の項目ではほぼ全国平均並みといつてよく、取り組みの成果が昨年に続きあらわれている。
- ・質問34では、昨年の数字を大きく下回り、全国平均や大阪市平均をも大きく下回っている。今年の3年生においては規範意識に大きな課題があり、授業規律の乱れとも大きく関係していると思われる。
- ・質問28においては、全国平均、大阪市平均を大きく下回っている。

質問番号	質問事項
------	------

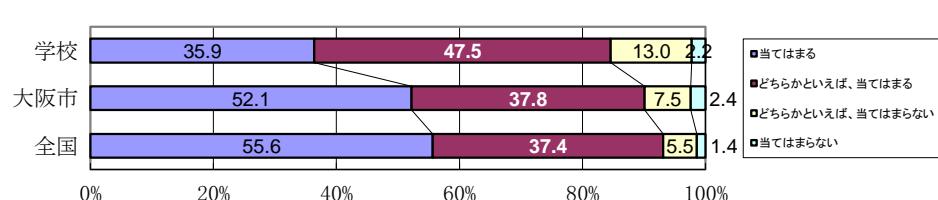
4

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



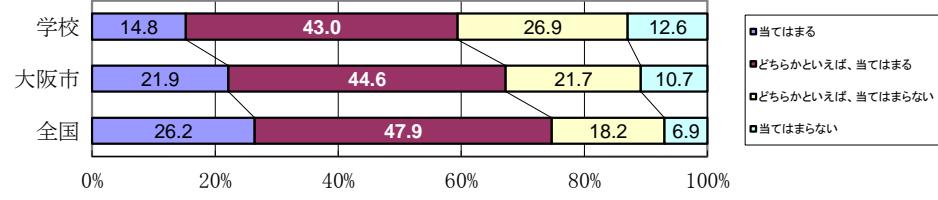
34

学校の規則を守っていますか



28

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



6

自分には、よいところがあると思いますか



成果と課題

- ・道徳の授業や、ピアサポート活動の活用により、自尊感情を高めることに関しては成果をあげている。
- ・規範意識の低さがすべての教育活動に影響していると思われる。大きな課題である。

今後の取組

- ・学力調査に関する意識の低さも含め、学校でのすべての教育活動に影響を与えてる規範意識の低さを改善していく取組みを、教職員全体で構築していく。

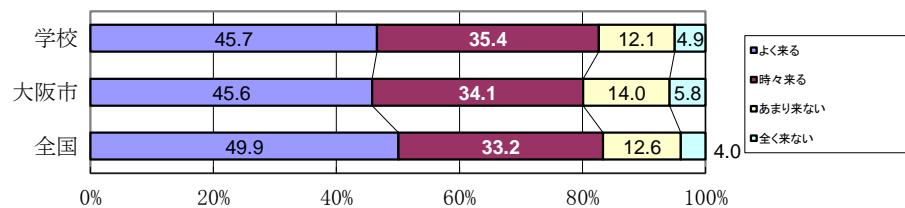
学校・家庭・地域の連携

結果の概要

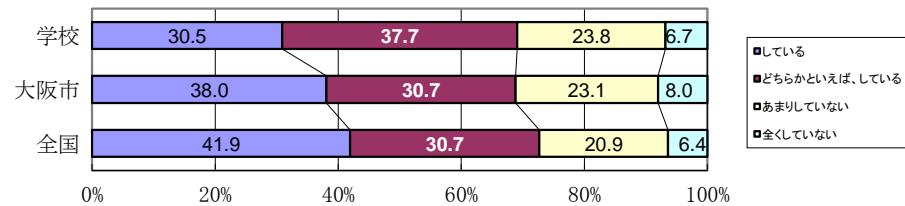
- ・質問20では全国平均並みの結果であった。大阪市平均と比べ上回っており、家の人が学校行事に参加する割合は高くなってきたと思われる。
- ・質問19もほぼ大阪市平均と同等であるが、全国平均とは開きがある。
- ・質問30では、大阪市平均は上回ったものの、全国平均とは大きな開きがあり、社会問題への関心の薄さが表れている。

質問番号	質問事項
------	------

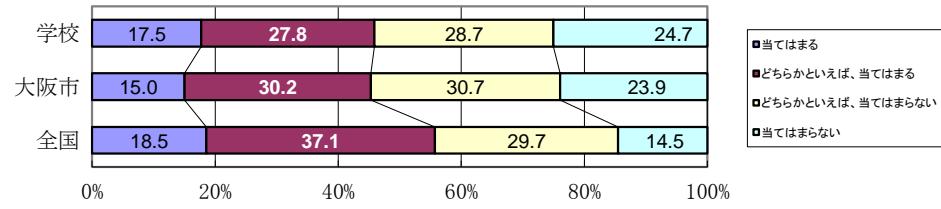
20
家の人が(兄弟姉妹除く)は授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



19
家の人が(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか



30
地域や社会で起こっている問題や出来事に关心がありますか



成果と課題

- ・土曜授業も含め、学校公開の機会が増加していることもあり、保護者の学校行事への関心も高まりつつある。
- ・地域や社会での問題や出来事への関心の低さが課題である。

今後の取組

- ・さらに学校公開の機会を増やしていくとともに、ホームページ等での情報公開や、情報発信に努めていく。
- ・授業や学級活動、集会での講話等を利用して、社会問題や地域の諸問題に关心が深まるよう努める。

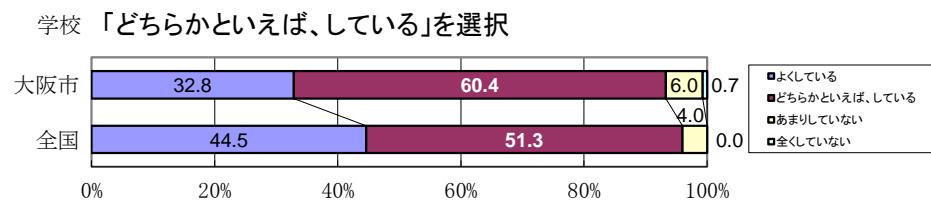
学校組織の改善

結果の概要

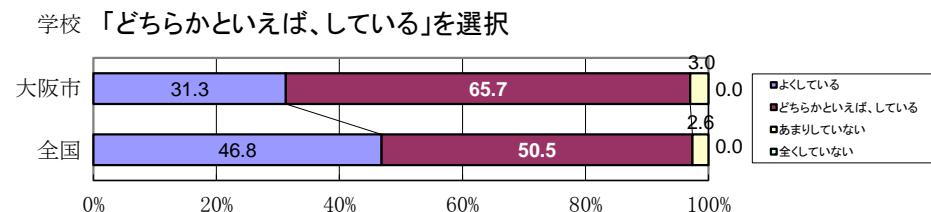
- ・いずれの質問に対する結果も、全国・大阪市平均と同等であった。
- ・学級や学校のいろんな課題に対して、学年・学校として組織的には取り組めている。

質問番号	質問事項
------	------

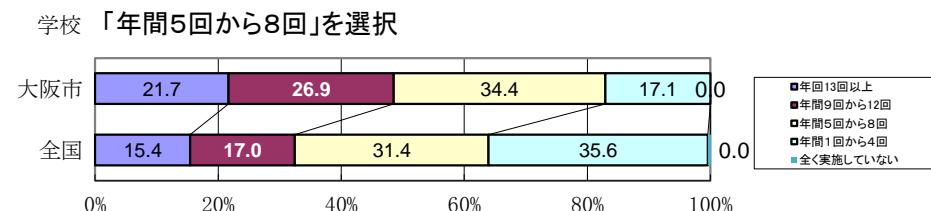
98【学校質問紙】
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



96【学校質問紙】
学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか



89【学校質問紙】
授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか



成果と課題

- ・課題解決に向けて組織的には取り組めているが、いくつかの課題に関しては成果をあげるには至っていない。
- ・ワークショップ形式を取り入れた研究協議を学期に1回継続して行っていることで、授業改革の意識が教員にも定着してきた。

今後の取組

- ・組織的な取り組みを継続する中で、内容の充実をさらにはかっていく。
- ・総合学習や、道徳の授業での授業研究を伴う校内研修に取り組んでいく。